

政務活動費収支報告書

平成 31 年 3 月 31 日

富士宮市議会議長 手島 皓二 様

会派名称 政経会

代表者氏名 鈴木 弘



平成 30 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入

政務活動費 1,500,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	0	
会議費	103,660	研修旅費、参加費
事務費	43,264	消耗品代
調査旅費	713,128	視察旅費
その他経費	12,000	お土産代
合計	872,052	

3 残額 627,948 円



平成 30 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
4	25	交付金	政務活動費	1,500,000		1,500,000
5	2	会議費	研修旅費		19,360	1,461,200
5	10	会議費	研修参加費		19,440	1,480,560
7	4	会議費	研修旅費		29,640	1,431,560
7	28	調査旅費	視察旅費		469,568	961,992
7	29	その他経費	お土産代		8,000	953,992
8	18	会議費	研修旅費		15,220	938,772
8	21	会議費	研修参加費		20,000	918,772
10	26	その他経費	お土産代		4,000	914,772
10	26	調査旅費	視察旅費		243,560	671,212
1	25	事務費	トナーカートリッジ代		3,456	667,756
2	28	事務費	文具用品代		2,808	664,948
3	20	事務費	地図		37,000	627,948
						627,948
						627,948
						627,948
						627,948
			合 計	1,500,000	872,052	627,948

収入金額 1,500,000 円

支出金額 872,052 円

差引残額 627,948 円

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富議第1号の2
平成30年4月1日

政経会
代表者 鈴木 弘 様




富士宮市長 須藤 秀 忠

平成30年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、
下記のとおり決定したので通知します。

記

平成30年度交付決定額 1,500,000円

支 出 伝 票

代表者印 		経 理 責任者印 
項 目	会議費	
金 額	19,360 円	
内 容	地方議員のための公会計講座に参加するための旅費	
目 的	地方公会計 財務書類の読み方・分析を研究するため	
支 出 先	望月芳将	
支払年月日	平成 30 年 5 月 2 日	
その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将		
領収書等貼付欄		出納簿記入済 印 

別紙のとおり

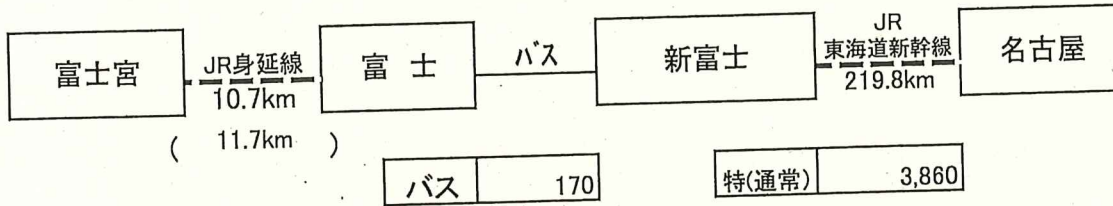
旅行命令（依頼）書

起案	平成30年5月2日	決裁	平成30年5月2日					
承認者	会派代表者印	●	予算項目 会議費					
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考			
1	政経会	議員	望月芳将	●				
2								
3								
4								
5								
用務・目的	地方公会計 財務書類の読み方・分析をテーマとした研修会に参加し公会計の改革に伴った変更点などについて研究するための旅費							
	用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日				
	愛知県名古屋市		平成30年5月10日	平成30年5月10日				
	備考							
復 命								
承認者	会派代表者印	●						
出発年月日	平成30年5月10日	帰省年月日	平成30年5月10日					
旅行先	名古屋市 NHK 名古屋放送センタービル							
復命	別紙報告書の通り							
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料	合計
	J・R・私鉄	通・閑・繁				1日	夜	
1	8,000	7,720		340		3,300		19,360
2								
3								
4								
5								

旅費計算書(政務活動費)

参加者: 政経会 望月 芳将 議員

- 研修: 地方議員のための地方公会計財務書類(統一的な基準)の読み方・分析の基本講座
- 会場: NHK名古屋放送センタービル内教室(名古屋市東区東桜1-13-3)
- 日程: 平成30年5月10日(木)(往復同行程)



JR運賃営業キロ	
231.5 Km	
4,000 円	
バス	170 円

鉄道賃	J R	8,000 円	運賃 A	16,060 円	$\times 1 \text{ 人} = 16,060 \text{ 円}$
	私鉄	円			
特急料金	通常	7,720 円	日当	3,300 円	$\times 1 \text{ 日} \times 1 \text{ 人} = 3,300 \text{ 円}$
	閑散	円			
	繁忙	円			
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円	$\times 0 \text{ 夜} \times 0 \text{ 人} = 0 \text{ 円}$
		円			
車賃(バス)		340 円			
1人往復運賃合計 A		16,060 円	旅費合計	19,360 円/人	$\times 1 \text{ 人} = 19,360 \text{ 円}$




※旅費計算表に基づく

研修報告書

会派名	政経会
-----	-----

研 修 年 月 日	平成30年5月10日
研 修 名	地方公会計 財務書類（統一的な基準）の読み方・分析の基本講座
参 加 者	望月芳将
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>概要：地方公会計の改革により、単式簿記から複式簿記の会計処理により、近々の課題を財務書類から読み取る講座であった。</p> <p>特色：永い歴史の中で、日本は単式簿記による公会計処理を行ってきた。しかし高度経済成長と人口増加社会から、人口減少、少子高齢化の波により公共のあり方が、肥大化から充実化へと大きく舵を切ることとなり、複式簿記によるコスト計算や資産活用や老朽化などを数値として表し、また、連結決算により全体を見ることができるところを、講座を通じて知識を広めた。</p> <p>効果：歴史的背景や公共の予算が執行されるにあたり、特に資産に準ずる物が行政サービス提供能力に準じているかと言う論点を教えていただいた。決算審査ではこのような視点での審査を行っていこうと思った。</p> <p>課題：富士宮市の財務書類の分析をただちに行おうと思った。特に平成28年度決算は統一的な基準の初年度であり、類似自治体との比較もできるのではないかと。</p>

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	19,440 円				
内 容	地方議員のための公会計講座に参加するための参加費				
目 的	地方公会計 財務書類の読み方・分析を研究するための負担金				
支 出 先	一般社団法人日本経営協会				
支払年月日	平成 30 年 5 月 1 0 日				
その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	地方議員のための公会計参加料
領収書等貼付欄			

No. XXXXXXXXXX

領 収 書

富士宮市議会 政経会様

印紙税法第五条
の非課税文書に
該当するため収入
印紙は貼付せず

¥ 19,440 -

上記 金額正に領収いたしました。

但し5/10地方議員のための地方公会計財務諸表(積-的72
基準)の読み方・分析の「基本」講習会参加料として

入金内訳	
現金	
小切手	
振込	
手形	




平成30年5月10日

一般社団法人 XXXXXXXXXX 協会の
常務理事・中部 XXXXXXXXXX 保存

担当者






- 本部事務局 〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 ☎(03)3403-1336(代)
- 関西本部 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル ☎(06)6443-6961(代)
- 中部本部 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル ☎(052)957-4726(代)
- 九州本部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-6-16 西鉄博多駅前ビル ☎(092)431-3365(代)
- 北海道本部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1 札幌北三条ビル ☎(011)241-7500(代)

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	29,640円				
内 容	地方創生バイオマスサミット参加のための旅費				
目 的	産官学連携による持続性のある地域事業としての木質バイオマスの利用について学ぶため				
支 出 先	鈴木弘 他1名				
支払年月日	平成30年7月4日				
その他特記事項 (参加者・人数等) 鈴木弘 望月芳将の2名					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

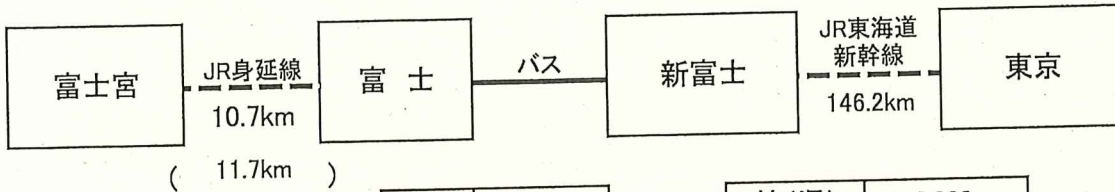
起案	平成30年 6 月 25 日	決裁	平成30年 7 月 2 日						
承認者	会派代表者印 	予算項目	会議費						
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考				
1	政経会	議員	望月芳将						
2	〃	〃	鈴木弘						
3									
4									
5									
用務・目的	産官学連携による持続性のある地域事業としての木質バイオマスの利用について学ぶため								
用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日						
千代田区(東京都)		平成30年7月5日	平成30年7月5日						
備考									
復 命									
承認者	会派代表者印 								
出発年月日	平成30年 7 月 5 日	帰省年月日	平成30年 7 月 5 日						
旅行先	東京都千代田区イイノホール								
復命	別紙のとおり								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	通・閑・繁				1 日	夜		
1	5,180	6,000		340		3,300			14,820
2	5,180	6,000		340		3,300			14,820
3									
4									
5									

旅費計算書(政務活動費)

参加者: 政経会

鈴木 弘 議員
望月芳将 議員

- 研修 地方創生バイオマスサミット
- 会場 イノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2-1-1飯野ビルディング)
- 日程 平成 30 年 7 月 5 日 (木) (往復同行程)



バス	170
----	-----

特(通)	3,000
------	-------

JR運賃営業キロ	
157.9 Km	
2,590 円	
バス	170 円

鉄道賃	J R	5,180 円	運賃 A	11,520 円 × 1 人 = 11,520 円
	私鉄	円		
特急料金	通常	6,000 円	日当	3,300 円 × 1 日 × 1 人 = 3,300 円
	閑散	円		
	繁忙	円		
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 0 人 = 0 円
		円		
車賃 (バス)		340 円		
1人往復運賃合計 A		11,520 円	旅費合計	14,820 円/人 × 2 人 = 29,640 円




※旅費計算表に基づく

研 修 報 告 書

会 派 名 政経会

研修年月日	平成 30 年 7 月 5 日 (木)
研 修 先	地方創世バイオマスサミット 東京イイノホール
参 加 者	望月芳将 鈴木弘
研 修 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>会長を増田寛也氏が務める地方創世バイオマスサミット実行委員会主催の木質バイオマスに関するセミナーである。地方行政のリーダーシップの下、民間企業の積極的な参画と官民連携での持続性のあるビジネスモデル創出を目指し、「地方創世とバイオマス資源循環型社会への新たな取り組み」という趣旨である。</p> <p>日本は戦後の旺盛な木材需要を輸入材に頼ってきたことにより林業は著しく衰退した。その一方戦後の拡大造林により 1,000 万 ha を超える森林が伐期を迎えている。この森林を整備し林業を振興することが今求められており、また地域経済の活性化や雇用の確保にもつながることから様々な取り組みが徐々に始まっている。</p> <p>欧州諸国においてはSDGsの採択及びCOP21におけるパリ協定の合意以降再生可能エネルギーの利用が拡大している。それを見習って行こうということ、数々の実例が示された。日本における先行事例の紹介も同時にされた。</p> <p>特に刺激的だった講義は立命館大学のドイツ人ラウパッハ スミヤ ヨーク教授のバイオマス利用の地域への経済効果についてだった。省・再エネルギーをベースにした分散型エネルギーシステムへの転換が地域にもたらす経済効果をどう測定・資産・評価・予測できるかということで構築した地域経済付加価値モデルを紹介した。地域経済付加価値は従業員の可処分所得と事業者の税引後収益と地方税収の合計ということであり、様々に数字を示している。計算高さに驚き、参考にすべきと感じた。</p> <p>高知県の尾崎知事が高知県における林業・木材業全般について話をしたことにも驚いた。意気込みが違う感じである。</p> <p>全般を通して痛感したことは再生可能エネルギーの普及において地方自治体がどう関わるべきかということである。企業に出資してインフラ会社を作り、公共施設で率先して再生エネルギーを使用することなど検討すべきことの第一と思われた。</p>

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	469,568円				
内 容	地方自治会の先進事例調査研究のための旅費				
目 的	大分県豊後高田市「昭和のまちづくり」について 大分県中津市「中津市議会 議会改革の取り組み」について 山口県周南市「女性マッチング事業」について 山口県田布施町「田布施町新規就農制度」について				
支 出 先	鈴木弘他4人				
支払年月日	平成30年7月28日				
その他特記事項（参加者・人数等） 鈴木弘、望月芳将、横山紘一郎、村瀬旬、諏訪部孝敏					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済	印 

別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

起案	平成30年	7月	28日	決裁	平成30年	7月	28日	
承認者	会派代表者印			予算項目				
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考			
1	政経会		鈴木 弘					
2	政経会		望月芳将					
3	政経会		村瀬 旬					
4	政経会		諏訪部孝敏					
5	政経会		横山紘一郎					
用務・目的	大分県豊後高田市「昭和のまちづくり」について 大分県中津市「中津市議会 議会改革の取り組み」について 山口県周南市「女性マッチング事業」について 山口県田布施町「田布施町新規就農制度」について							
用務地		宿泊地		出発年月日		帰省年月日		
大分県 山口県		中津市 周南市		平成30年7月31日		平成30年8月2日		
備考								
復 命								
承認者	会派代表者印							
出発年月日	平成30年 7月 31日			帰省年月日	平成30年 8月 2日			
旅行先	大分県豊後高田市 大分県中津市 山口県周南市 山口県田布施町							
復命	別紙報告書の通り							
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当 3日	宿泊料 2夜	合計
	J.R・私鉄	通・閑・繁						
1	17,110	13,500		2060	18,344	9900	33000	93,914
2	17,110	13,500		2060	18,344	9900	33000	93,914
3	17,110	13,500		2060	18,344	9900	33000	93,914
4	17,110	13,500		2060	18,343	9900	33000	93,913
5	17,110	13,500		2060	18,343	9900	33000	93,913

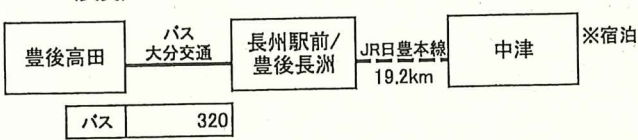
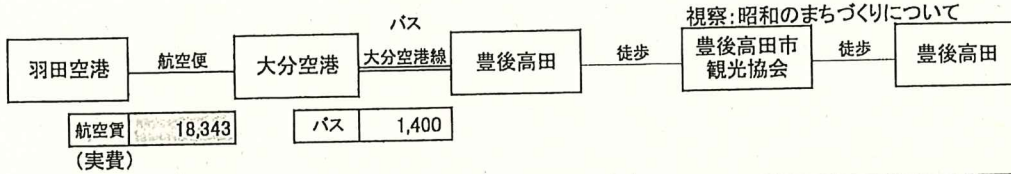
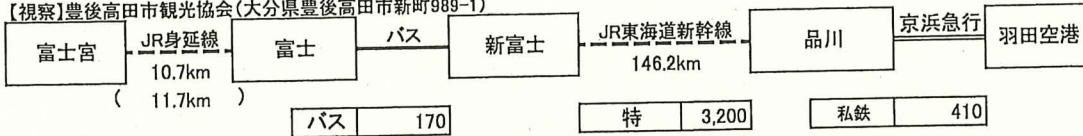
旅費計算書(政務活動費)

政経会

(鈴木弘議員・諏訪部孝敏議員・望月芳将議員・横山敏一郎議員・村瀬旬議員)

● 1 日 目 : 平成30年7月31日(火)(繁忙期)

【視察】豊後高田市観光協会(大分県豊後高田市新町989-1)

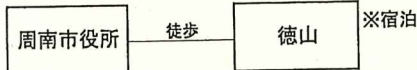
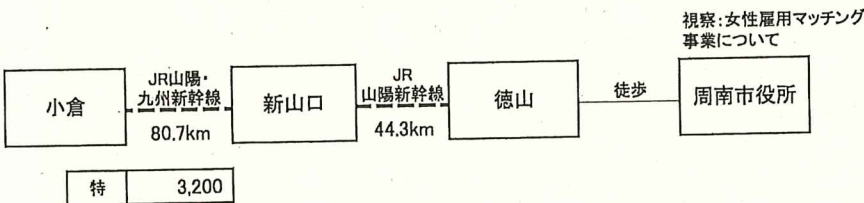
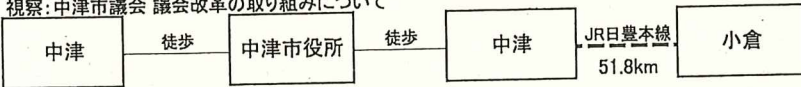


JR運賃営業キロ		JR運賃営業キロ	
157.9	Km	1,044.2	Km
2,590 円		13,110 円	
バス	1,890円	バス	
私鉄	410円	私鉄	

● 2 日 目 : 平成30年8月1日(水)(繁忙期)

【視察】中津市議会事務局(大分県中津市豊田町14-3)、周南市議会事務局(山口県周南市岐山通1-1)

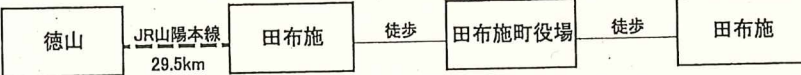
視察:中津市議会 議会改革の取り組みについて



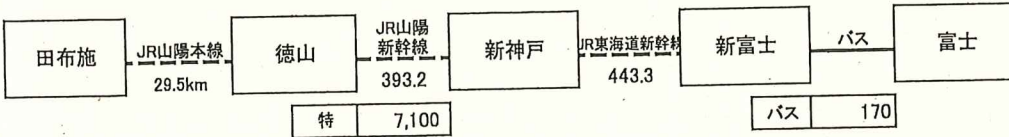
● 3 日 目 : 平成30年8月2日(木)(繁忙期)

【視察】田布施町議会事務局(山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1)

視察:田布施町新規就農制度について



JR運賃営業キロ	
徳山~田布施(往復)	29.5 Km
	1,000 円
バス	
私鉄	



JR運賃営業キロ	
	Km
	円
バス	170円
私鉄	

鉄道賃	JR	16,700 円	運賃 A	51,013 円	×	1 人	=	51,013 円			
	私鉄	410 円		日当	3,300 円	×	3 日	×	1 人	=	9,900 円
特急料金	通常	円	航空運賃		料	金	18,343 円	※	円		
	閑散	円			車賃(バス)	2,060 円	宿泊料			16,500 円	×
	繁忙	13,500 円	1人往復運賃合計 A	51,013 円		旅費合計		93,913 円/人	×	5 人	=

※ 航空券代 実費 91,718円(18,343円×5人=91,715円)のため、469,565円+3円=469,568円
平成30年7月24日 人事課確認済

領収証



富士宮市議会政経会

様

入金日 2018年 6月 30日

金額 ¥91,718-

但 航空券代として

上記金額領収致しました

〒105-6219 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー19階
株式会社 エボラブルアジア
TEL : 0570-03-5971/ FAX : 050-3153-0755

■内訳

●お申し込み代表者様
ムラセ ヒトシ様

●お客様ID

●ご搭乗者様

ムラセ ヒトシ様 男性 59歳
モチヅキ ヨシマサ様 男性 41歳
スワベ タカトシ様 男性 62歳
スズキ ヒロム様 男性 61歳
ヨコヤマ コウイチロウ様 男性 77歳

●航空券情報

区間 1 : 07月31日 (JAL663 普通/09:45 - 11:15)
区間: 東京(羽田)→大分

人数: 5名様

●ご料金は以下の通りとなります。
区間 1 : 16,390円×大人5名様
取扱料金 : 1080円×5名様

小計 : 87,350円
+事務手数料4368円

●ご請求額は以下の通りとなります。
合計 : 91,718円

視 察 報 告 書

		会 派 名	政 経 会
視 察 年 月 日	平成 30 年 7 月 3 1 日 (火)		
視 察 先	豊後高田市		
参 加 者	望月芳将 横山紘一郎 鈴木弘 村瀬旬 諏訪部孝敏		
視 察 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p style="text-align: center;"><豊後高田 昭和のまちづくり></p> <p>概要：旧豊後高田市の商店街は市内の中心を流れる桂川によって二分され、西側に 6 商店街、東側に 2 商店街があり、それぞれが地域商業の核として栄えてきた。しかしながら、近年の大型店の進出や過疎化による後継者不足、さらには加速する時代の潮流にのりきれず、どの商店街も衰退の道をたどっていた。特に、取り組み当初、事業を行った 4 商店街（駅前通り、新町 1 丁目、新町 2 丁目、中央通り）については、以前はその周辺にスーパーや大分銀行、西日本銀行が建ち並んでいたが、スーパーは撤退し、両銀行は国道 213 号線沿いに移転したため、人通りの減少に追い討ちをかけ、廃業する商店も出始めていた。こうした中、商店街では祭り行事に同調した売り出しやイベント、定期的な朝市の開催などの活性化策を図っていたが、集客効果は厳しい状況であったため、改革が求められていた。</p> <p>特色：①豊後高田市が資本金の 74% を出資し会社を設立 ②民間手法を取り入れ他の観光地との差別化 ③行政との連携により、広域観光拡大を視野に取組</p> <p>効果：「昭和の町」を観光拠点として中心市街地の活性化が以前より図られ、地域内における交流人口の増加に繋がった。</p> <p>課題：①観光の核となる商店街であるが、オープンから次の段階へ進んだ現在もまだまだ空き店舗が多い。 ②広域連携を通じて、観光客の受け入れ強化と「昭和の町」全体の魅力の強化と滞在時間の延長の施策が必要 富士宮市でも商店街の活性化は、近々の課題となっている。 富士山世界遺産センターのオープンに伴い商店街への波及効が期待されるが、交流人口の回遊を促進する施策が必要となる。</p>		

視察報告書

会派名	
政経会	
視察年月日	平成 30 年 8 月 1 日
視察先	大分県中津市
参加者	鈴木弘、諏訪部孝敏、村瀬旬、横山紘一郎、望月芳将
視察内容 <small>(概要、特色、効果、課題等)</small>	<p>概要：平成 27 年に議会基本条例を制定し、本年度は 2 年が経過し検証をはじめている。また、自由討議を活発に取り入れ、市当局に対し提言をしている。</p> <p>特色：自由討議は本会議で行い、提言がまとまれば議決している。当市議会は委員会での議決であるが、本会議での決定の方が重みがあるように感じた。また、説明員の出席は最小限にし、自由討議は説明員の出席は求めている。委員会の権限として審査権と調査権を分けて運営している。会期中は議案の審議を充実し、閉会中審査で所管事務調査を行っている。</p> <p>効果：議会運営委員会の充実が図られている。自由討議も議会運営委員会で議題としての有無を図り決めている。議論が成熟したものが提言として議決されている。</p> <p>課題：当市議会では、政策提言を委員会ベースで行なっているので委員会重視であるが、本会議での議決が議会としての結論となるのでその様にすべきであると考え。説明員の出席要請は最小限にすべきである。</p>

視 察 報 告 書

会 派 名 政経会	
視 察 年 月 日	平成 30 年 8 月 1 日 (水)
視 察 先	周南市 女性雇用マッチング事業
参 加 者	村瀬旬 横山紘一郎 望月芳将 諏訪部孝敏 鈴木弘
視 察 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>地方創世交付金事業としての取り組み。</p> <p>周南市においては一貫して人口の社会減が続く中で、平成 14 には自然減にも転じ、人口減少に歯止めがかからない状況が続いている。労働人口が減少する中女性の年齢階層別就業率の推移をみると特に 20 歳代、30 歳代の就業率は全国値を大きく下回っている。ここを改善できれば労働人口を増加させることができる。そのための事業である。</p> <p>昨年 (平成 29 年度) は女性の就労に関する実態やニーズを調査した。幼稚園に通う子を持つ母親など 718 人聞いた調査では、就労していない人は 55% だった。その多くの人がいずれ働きたいと考えているが、実際に就労のための活動をしている人は少なかった。</p> <p>そうした結果を踏まえ平成 30 年度より、「女性が安定的に働くことのできる環境、安心して産み育てることのできる環境の整備に取り組む、女性の社会減の抑制や、女性の安定を促進し、活力のあるまちづくりを目指す」ことを目的とした事業を展開する。</p> <p>主な基本的な事業は以下である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 女性雇用促進のための WEB サイト構築 ② 就労への意識付けを高めるための講座やセミナーの開催 ③ 女性が働きやすい職場環境づくりに向けた企業への意識啓発 ④ 女性向け就職イベント開催 ⑤ 活躍する女性を応援するための認定制度の創設 <p>特に 31 年度の事業には情報通信系やクリエイティブ系の事業誘致などにより、女性の雇用機会を創出とあり、興味深かった。</p> <p>もともとコンビナートを有する工業地域のため女性が働く場が少なかった。それを解消しようということだ。情報通信系の誘致については手厚い補助金を用意してすでにテレワーク企業の誘致がなされているという。クリエイティブ系については市内に徳山大学があり、クリエイティブな能力を持って仕事を行っている人が多くいる。この人たちのまとめ役をする会社をつくれば仕事も増え、新たな就労の場が増えることに繋がるということだ。ソフト系の企業の誘致に力を入れることは富士宮市も見習いたい。</p> <p>ただマッチング事業の 31 年度目標数が 10 人というがちよっと寂しい数字と感じた。</p>

視察報告書

会派名	政経会
-----	-----

視察 年月日	平成 30 年 8 月 2 日
視察先	山口県 田布施町
参加者	鈴木弘、諏訪部孝敏、村瀬旬、横山紘一郎、望月芳将
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>概要：耕作放棄地増加と農業従事者高齢化により農業主体の自治体である為の対策を実施している。</p> <p>特色：年に 2 回程度体験農業学校を開設し都会からの若者・定年退職者または町内在住の町民に体験農業に 3 日ほど従事していただき、本人の希望により、未経験者には山口大学で教育を受けることができる。農業経験者であれば独立農家として、未経験者であれば農業法人に就職の道がある。また、移住を希望される方には、空き家バンク制度がある。高収益を図るため、栽培物をいちぢく・アスパラガスなども栽培されている。販売については農作物直売所も設けられている。</p> <p>効果：現在田布施町では国による 160ha の農地のきぼん整備事業が実地されており、地下灌漑システムも構築されている。この事業が終了する事によってかなりの期待ができる。</p> <p>課題：農業収入はサラリーマン収入を遥かに下回っており、高収入作物の研究と大規模作農面積が必要とおもわれる。</p>

支 出 伝 票

代表者印		経 理 責任者印	
------	--	-------------	--

項 目	その他の費用
金 額	8,000円
内 容	お土産 (お茶)
目 的	先進地調査先4自治体へのお礼
支 出 先	望野製茶工場
支払年月日	平成30年7月29日
その他特記事項 (参加者・人数等) 鈴木弘、村瀬旬、望月芳将、横山紘一郎、諏訪部孝敏 大分県豊後高田市「昭和のまちづくり」について 大分県中津市「議会改革の取り組み」について 山口県周南市「女性雇用マッチング事業」について 山口県田布施町「田布施町新規就農制度」について	

— 領収書等貼付欄 —

出納簿記入済 印

領 収 証

No.

富士宮市議会 政経会 様

2018年7月29日

金額

78000-

印
紙

内
消費税

但印代

上記正に領収いたしました




現金			
小切手			

DY-16

富士見園
望野製茶工場
望野 穀

〒418-0023 静岡県富士宮市山本301-2
TEL (0544) 25-3606 FAX 22-8099

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	15,220円				
内 容	自治体財政研究会参加の旅費				
目 的	地方自治の役目と財政問題を研究するため				
支 出 先	望月芳将				
支払年月日	平成30年8月18日				
その他特記事項（参加者・人数等） 望月芳将1名					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

起案	平成30年 8月 16日	決裁	平成30年 8月 16日						
承認者	会派代表者印	●	予算項目 会議費						
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考				
1	政経会	議員	望月芳将	●					
2									
3									
4									
5									
用務・目的	『自治体財政研究会』IN丸の内に参加し、地方自治の役目と財政問題を研究するため								
	用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日					
	東京都千代田区		平成30年8月21日	平成30年8月21日					
	備考								
復 命									
	承認者	会派代表者印	●						
	出発年月日	平成30年8月21日	帰省年月日	平成30年8月21日					
	旅行先	東京都千代田区丸の内3-1-1 Galleria南.Tokyo							
復命	別紙の通り								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	通・ 特 ・閑				1日	夜		
1	5,180	6,400		340		3,300			15,220
2									
3									
4									
5									

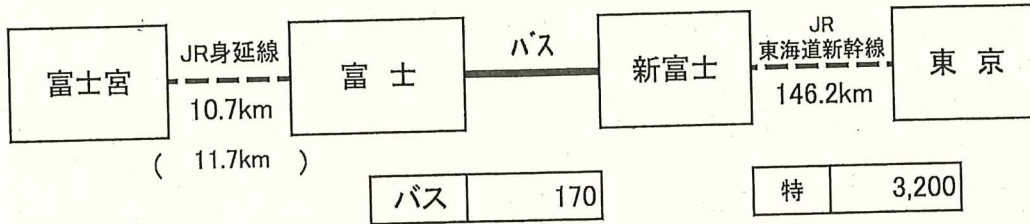
旅費計算書(政務活動費)

会議費

参加者: 政経会
望月芳将議員

研修: 「自治体財政研究会」in丸の内
会場: Galleria商. Tokyo(千葉商科大学丸の内サテライト)
(東京都千代田区丸の内3-1-1)

● 平成30年8月21日(火) (往復) ※繁忙期



JR運賃営業キロ	
	157.9 Km
	2,590 円
バス	170 円

鉄道賃	JR	5,180 円	運賃 A	11,920 円 × 1 人 = 11,920 円
	私鉄	円	日当	3,300 円 × 1 日 × 1 人 = 3,300 円
特急料金	通常	円		
	閑散	円		
	繁忙	6,400 円		
航空運賃	料金	円	宿泊料	0 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円
		円		
車賃(バス)		340 円		
		円		
1人往復運賃合計 A		11,920 円	旅費合計	15,220 円/人 × 1 人 = 15,220 円




※旅費計算表に基づく

参加料: 20,000円

研修報告書

会派名 政経会	
研 修 年 月 日	平成 30 年 8 月 2 1 日
研 修 名	「自治体財政研究会」IN 丸の内
参 加 者	望月芳将
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>概要：①千葉商科大学大学院 吉田寛教授による『こどもにツケをまわさない』 ②元麻布大学 非常勤講師 野口理佐子氏による『地方財政にやさしい環境政策』 ③元我孫子市長 福島浩彦氏による『本当に自治が必要となる』について、講義を受けた。</p> <p>内容：①について、会計の語源から『会ってその功績を計る』良い業績を上げたものは褒美を与え、業績が悪ければ責めを負う。よって、決算においてその業績を評価していく必要性があるのだと。また、決算の表示も市民の便益に供したものと、市長のものと分けて評価をすべきであると主張していた。 ②については、新設される環境税で本当に自然環境は良くなるのかという議論を投げかけた。 ③については、人口減少時代にむけた自治のあり方について経験をもとに、国任せでないオリジナリティーをだしていく大切さ大変さの持論を展開した。</p> <p>課題：それぞれの講師の持論を拝聴したが、こどもたちにツケを残さないことの意味は、無責任なツケを次世代に回さないことであると思う。それには議会が住民との合意形成に向け役割を発揮することが重要だと感じた。</p>

支 出 伝 票


		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	20,000 円				
内 容	財政と地方自治の課題についての講座に参加するための参加費				
目 的	地方自治の役目と財政問題を研究するための負担金				
支 出 先	自治体財政研究所				
支払年月日	平成 30 年 8 月 2 1 日				
その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

領 収 証
 政経会 望月芳将 様

¥20,000.—

但し 自治体財政研究会参加費として

平成30年8月21日 上記正に領収いたしました

東京都港区赤坂1丁目3番15号
 第2中田ビル7階
 自治体財政研究会
 会計 丸山 陽 

No.

支 出 伝 票

代表者印		経 理 責任者印	
------	--	-------------	--

項 目	その他の経費
金 額	4,000円
内 容	土産
目 的	先進地調査先2自治体へのお礼
支 出 先	望野製茶工場 (お茶)
支払年月日	平成30年10月26日
その他特記事項 (参加者・人数等) 2,000円 × 2箱 鈴木弘、村瀬旬、横山紘一郎、望月芳将、諏訪部孝敏 新潟県長岡市「生ゴミバイオガス事業」について 千葉県野田市「環境にやさしい農業の実践」について	

— 領収書 (明細) 貼付欄

出納簿記入済 印



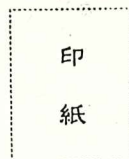
領 収 証

No.

富士宮市議会政経会様

年 10 月 26 日

金額										7,400.00	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------	--



内 消費税 但 1円代 上記正に領収いたしました




現金			
小切手			

DY-16

望野製茶工場
望野製

〒418-0023 静岡県富士宮市山本301-2
TEL(0544)20-3606 FAX20-3093

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	243,560円				
内 容	地方自治会の先進事例調査研究のための旅費				
目 的	新潟県長岡市「生ゴミバイオガス化事業」について 千葉県野田市「環境にやさしい農業の実践」について				
支 出 先	鈴木 弘ほか4人				
支払年月日	平成30年10月26日				
その他特記事項（参加者・人数等） 鈴木弘、村瀬旬、望月芳将、諏訪部孝敏、横山紘一郎の5人					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済	印 

別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

起案	平成30年 10月 26日	決裁	平成30年 10月 26日						
承認者	会派代表者印	予算項目	視察旅費						
	所属	職（補職）名	氏名	印	備考				
1	政経会		望月芳将						
2									
3									
4									
5									
用務・目的	新潟県長岡市「生ゴミバイオガス化事業」について								
	用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日					
	新潟県	長岡市	平成30年10月29日	平成30年10月29日					
	備考								
復 命									
承認者	会派代表者印								
出発年月日	平成30年 10月 29日	帰省年月日	平成30年 10月 29日						
旅行先	長岡市役所								
復命	別紙報告書の通り								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃（実費）	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	通・閑・繁				1日	夜		
1	14,040		14,400	340		3,300			32,080
2									
3									
4									
5									

旅行命令（依頼）書

起案	平成30年 10月 26日	決裁	平成30年 10月 26日						
承認者	会派代表者印	予算項目	視察旅費						
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考				
1	政経会		鈴木 弘						
2	政経会		横山絃一郎						
3	政経会		村瀬 旬						
4	政経会		諏訪部孝敏						
5									
用務・目的	新潟県長岡市「生ゴミバイオガス化事業」について 千葉県野田市「環境にやさしい農業の実践」について								
	用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日					
	新潟県 千葉県	長岡市	平成30年10月29日	平成30年10月30日					
備考									
復 命									
承認者	会派代表者印								
出発年月日	平成30年 10月 29日	帰省年月日	平成30年 10月 30日						
旅行先	長岡市役所 野田市役所								
復命	別紙報告書の通り								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	通・閑・繁				2日	1夜		
1	15,240		14,190	340		6600	16500		52,870
2	15,240		14,190	340		6600	16500		52,870
3	15,240		14,190	340		6600	16500		52,870
4	15,240		14,190	340		6600	16500		52,870
5									

旅費計算書(政務活動費)

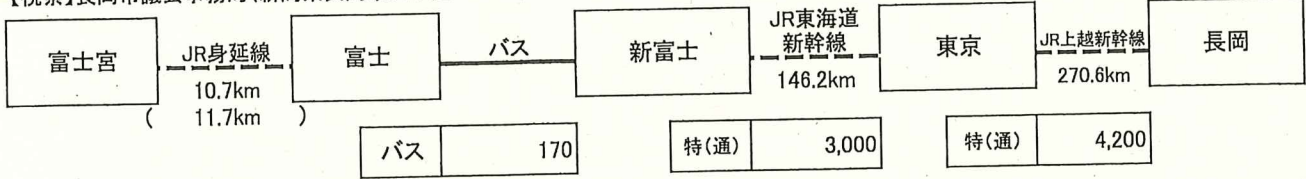
政経会

望月芳将議員

● 1 日 目 : 平成30年10月29日 (月) 通常期 (往復同行程)

視察: 生ごみバイオガス化事業について

【視察】長岡市議会事務局(新潟県長岡市大手通1-4-10)



JR運賃営業キロ	
428.5 Km	
7,020 円	
バス	170円

鉄 道 賃	J R	14,040 円	運賃 A	28,780 円 × 1 人 = 28,780 円		
	私 鉄	円				
特 急 料 金	通常	14,400 円	日 当	3,300 円 × 1 日 × 1 人 = 3,300 円		
	閑 散	円				
	繁 忙	円				
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円 × 夜 × 人 = 0		
船 賃	円					
車 賃 (バ ス)	340 円					
1人往復運賃合計 A		28,780 円	旅費合計	32,080 円/人 × 1 人 = 32,080 円		

※ 平成30年10月22日 人事課確認済

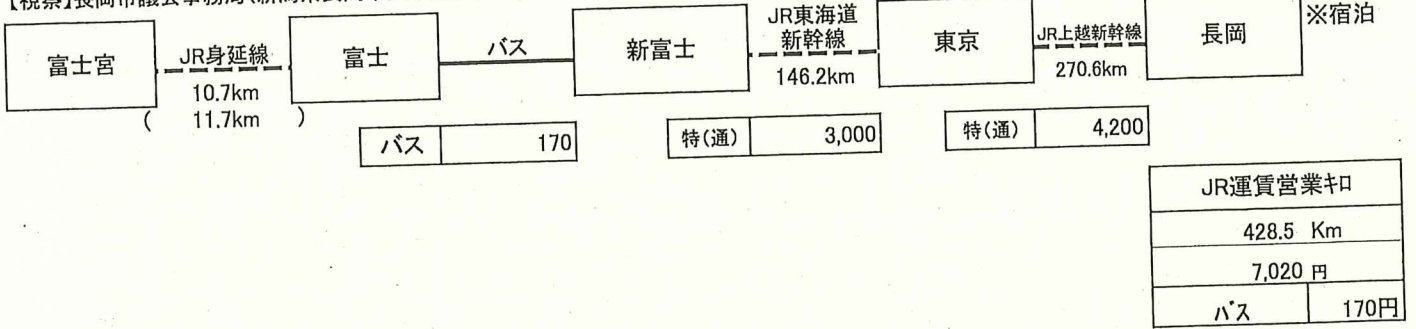
旅費計算書(政務活動費)

政経会(4人)

鈴木 弘議員・諏訪部孝敏議員・
村瀬旬議員・横山紘一郎議員

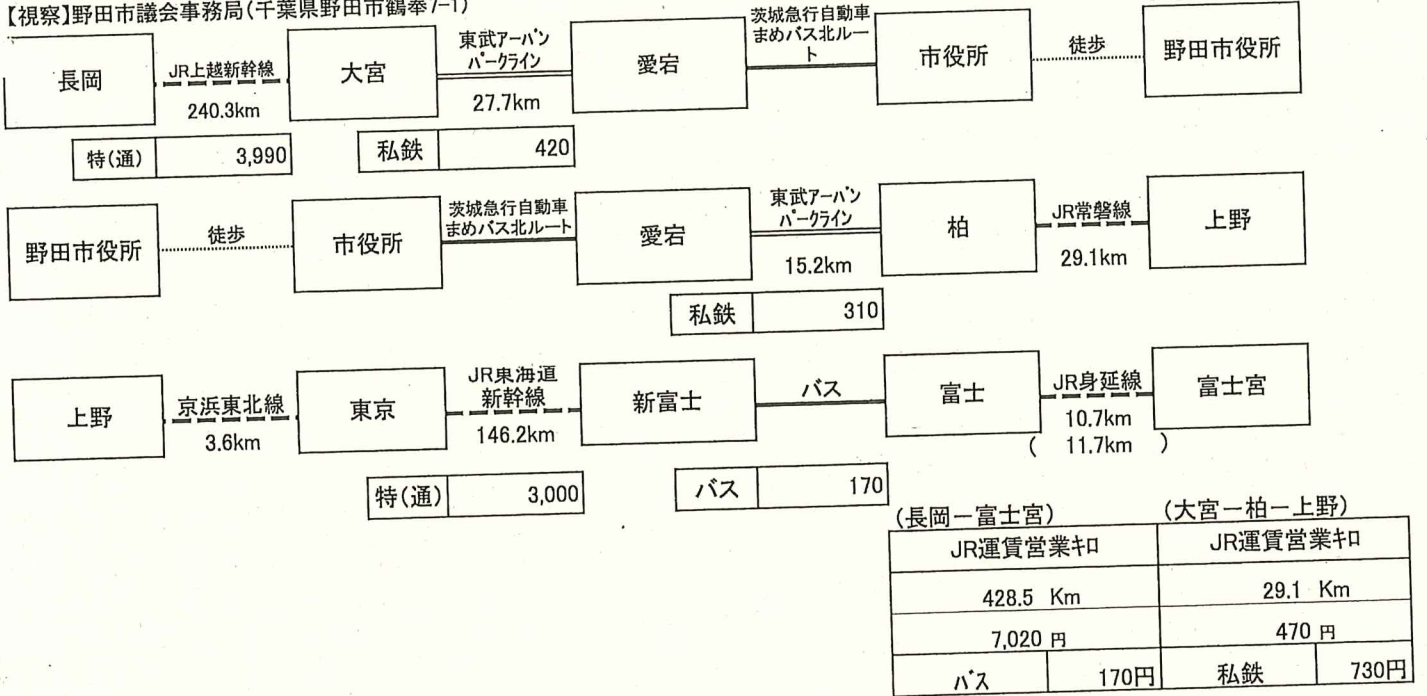
● 1 日 目 : 平成30年10月29日 (月) 通常期
【視察】長岡市議会事務局(新潟県長岡市大手通1-4-10)

視察:生ごみバイオガス化事業について



● 2 日 目 : 平成30年10月30日 (火) 通常期
【視察】野田市議会事務局(千葉県野田市鶴奉7-1)

視察:環境にやさしい農業の実践(堆肥センター・玄米黒酢農法・冬期湛水水田)について



鉄道賃	JR	14,510 円	運賃 A	29,770 円	×	1 人	=	29,770 円
	私鉄	730 円						
特急料金	通常	14,190 円	日当	3,300 円 ×	2 日 ×	1 人 =		6,600 円
	閑散	円						
	繁忙	円						
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円 ×	1 夜 ×	1 人 =		16,500 円
船賃		円						
車賃(バス)		340 円						
1人往復運賃合計 A		29,770 円	旅費合計	52,870 円/人	×	4 人 =		211,480 円

※ 平成30年9月20日 人事課確認済

視 察 報 告 書

会 派 名 政経会	
視 察 年 月 日	平成 30 年 10 月 29 日
視 察 先	新潟県 長岡市 環境衛生センター
参 加 者	村瀬旬 望月芳将 諏訪部孝敏 鈴木弘 横山紘一郎
視 察 内 容 <small>(概要、特色、 効果、課題等)</small>	<p style="text-align: center;">＜生ゴミバイオガス化事業＞</p> <p>概要：長岡市では、CO₂ の排出量が少なく全国生産量の約 4 割を占める天然ガスの活用を推進するとともに、地域資源や地域エネルギーを活用した新たな地域循環型社会の形成に向けて積極的に取り組んでいる。全国に先駆けて下水汚泥消化ガスの民間ガス会社への売却、電気自動車用急速充電器の利用など、環境の先進地として全国に発信している。</p> <p>特色：民間と行政が連携して行う P F I 方式で事業契約額は、（設計・建設費 19 億円、運営・維持管理費 28 億円）となる。</p> <p>効果：生ゴミの分別収集により、家庭から出される燃やすごみの量が減少した。燃やした後の焼却灰を埋め立てる最終処分場の延命化に繋がり、15 年間で約 35 億円が削減された。その他、年間 2,000 トンの二酸化炭素を削減することができ、発生したバイオガスを発電利用し、年間 410 万キロワットを発電して、平成 26 年 7 月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用し、余剰電力を地元電力会社へ送電している。</p> <p>課題：生ゴミの中の想定外の異物の混入を防ぐ必要があり、市民等への広報などを活用した啓発活動を継続しながら、生ゴミ分別に協力しやすい体制を提供していく（施設の安定稼働）</p> <p>感想：視察、見学者の多さに驚かされた。環境教育の場として、市内の学校関係や各コミュニティセンター等をはじめ、県内外の自治体、議会関係者や民間企業等の視察・見学が平成 29 年度 2491 件訪れていることは、ゴミを資源に変えていく今後のエネルギー政策のモデルとして注目すべき事業だと思いました。</p>




視 察 報 告 書

会 派 名		政経会
視 察 年 月 日	平成 30 年 10 月 30 日 (火)	
視 察 先	野田市 環境保全型農業について	
参 加 者	村瀬旬 横山絃一郎 諏訪部孝敏 鈴木弘	
視 察 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>要点は 3 点あると思われる。すなわち一つ目は堆肥化事業、二つ目は黒酢農法による水稻栽培、三つ目が冬季湛水である。それらが一体となり、環境保全型農業となり更にはブランド化へとつながっている。</p> <p>一つ目の堆肥化事業であるが、これは平成 11 年度の国庫事業、農業生産体制強化総合推進対策事業：持続的農業先導的実践地区整備事業として始まった。それまで一般廃棄物として処理されていた剪定枝、草、落ち葉に牛ふんを混ぜ発酵させ混合牛ふん堆肥を作るといふもので、その施設として野田市堆肥センターを建設した。有機資源を活用した農産物ブランド化を目指したものだ。運営は(株)野田自然共生ファームが委託を受けている。堆肥は農家へは無料で配布しているが、もみ殻牛ふん剪定枝混合堆肥は 2t あたり 1,940 円で販売している。また有償で運搬及びほ場への散布も行っている。</p> <p>市としてゴミの減量が図られ、野菜農家、米農家として化学肥料・の縮減ができて経費節約となり、酪農家として牛ふんの処理ができ、生産物は有機栽培となり、一石三鳥の効果が得られている。</p> <p>二つ目の黒酢農法を取り入れた水稻栽培は農薬の代わりに玄米黒酢を使うというものである。地元の石山味噌醤油(株)と新潟大学が共同で開発し、特許を取得した水稻栽培方法。玄米黒酢に豊富に含まれているアミノ酸がいい働きをするようで、病気に強い稲となり、食味も増すという。この農法で作った米を「黒酢米」と名付け、野田市産ブランド米として販売している。驚くべきことはこの酢をヘリコプターで散布しているということだ。この地域では従来より農薬の空中散布が行われていたそう。それが黒酢に変わったわけだが、その費用は市の補助金が農業協議会に入り、そこが負担して農業者は無償で空中散布サービスが得られると云うことだった。</p> <p>三つ目の冬季湛水であるが、この目的は冬季に田に水を張ることにより土中の微生物の繁殖を促すことで豊かな土壌の土台を作り、農薬や化学肥料の代わりに米ぬかなどの使用と探水管理等によって雑草を抑制すること、そしてドジョウや小魚の多様な生き物を育む環境を整えていくことという。</p> <p>冬に水を張ると稲の切り株やわらなどの有機物が水中で分解さ</p>	

れ、微生物や藻が発生しそれを餌とする様々な生物」が集まってくる。そうした生物の活動が「トロトロ層」という抑草効果のある層を作り、また田んぼの土壌も豊かになるそうだ。これによっても農薬や、肥料もいらなくなり付加価値の高い米となる。生き物を育む田んぼでとれた米というストーリー性も生まれることになる。

ただ生産するだけでなく、やはり考え、工夫することがなければ付加価値の高い農産物はできない。付加価値の高い農産物を作る取り組みを市を上げてしなくてはと思い知らされた。

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	事務費				
金 額	3, 4 5 6 円				
内 容	NECPR-L5300= 1 1 トナーカートリッジ				
目 的	調査資料印刷の為				
支 出 先	株式会社 大五堂 深沢文具				
支払年月日	平成31年1月 25日				
その他特記事項 (参加者・人数等) NECPR-L5300= 1 1 トナーカートリッジ 6400 円 消費税 512 円 合計 6,912 円 <div style="text-align: right;">6,912 円 × 1/2 = 3,456 円</div>					
領収書等貼付欄			出納簿記入済 印		
					

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	事務作業に必要なため
----	-----	----	------------

領収書等貼付欄

領 収 証

政経会

様 No. _____

★
但

¥ 6,912-
トナ-カ-トリ、ジ代

3 / 年 1 月 25 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等(%)

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

富士宮市北町21-10(〒418-0061)
株式会社 大五堂 深
代表取締役 深
TEL0544-27-2317 F 4

別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	文具用品代
----	-----	----	-------

領収書等貼付欄

請求書 31年2月28日 No. _____

政経会




〒418-0067 富士宮市宮町8-28
株式会社 吉澤
様 代表取締役 吉澤祐
TEL 0544-27-2725 / FAX 0544-27-2726

下記のとおり御請求申し上げます 振込先

税込合計金額 ￥5616- 税率 8% 消費税額等 416

品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)		摘要
1 金筆 4:20付代	2	500		1000	
2 カバン 万全	10	280		2800	
3 ホットスタンプ用紙 55	1	1400		1400	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計				5200	

支 出 伝 票

代表者印 		経 理 責任者印 
項 目	事務費	
金 額	37,000 円	
内 容	ゼンリン住宅地図	
目 的	富士宮市内の地図確認の為。	
支 出 先	株式会社ゼンリン東海	
支払年月日	2019年 3月 20日	
その他特記事項 (参加者・人数等)		
富士宮市① 富士宮市② (芝川) ファイル替え		
— 領収書 (明細) 貼付欄 —		出納簿記入済 印 

領 収 証

No. 104057

政 経 会 様

2019年 3月 20日

金額	百万	4	千	3	7	円
		7		0	0	0

収 入
印 紙

内 訳
現 金
小 切 手
振 込

但し、ゼンリンの住宅地図・広告掲載代金

富士宮市(富士宮)(芝川)ファイル替えとして
領収いたしました。

税抜金額

消費税
(%)

ZENRIN

株式会社 ゼンリン

〒411-0907 静岡県駿東郡清水町

TEL <055>975-0099 (代)

取扱者



別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	事務作業に必要なため
----	-----	----	------------

領収書等貼付欄

請求書

〒418-0073 静岡県富士宮市弓沢町150
 富士宮市議会事務局内
 政経会 御中

TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248

〒411-0907 静岡県富士宮市
 株式会社 東海建設
 代表取締役 佐々木 誠
 〒411-0907 静岡県富士宮市
 TEL<055>XXXX-XXXX

2019年 3月 20日

伍票紙
 郵便局宛

毎度ありがとうございます。上記の通り御請求申し上げます。
 お振込みの際、振込手数料は貴社にて負担願います。

コード	商品名	数量	単価	金額	備考
	富士宮市(富士宮)住宅地図ファイル巻	1冊	31,500	31,500	
	富士宮市(芝川)住宅地図ファイル巻	1冊	13,500	13,500	
	値引			-11,500*	
合 計				33,500	

消費税額 2,741

消費税合計 34,259 (消費税合計)

課税対象額 37,000

DSS []